



勉強する子ども きたえる子ども やさしい子ども

# かわひがし

都城市立川東小学校 学校だより



令和7年度 第6号

令和7年8月26日

文責 校長

本校の木 やまもも

## 2学期がスタート！

長い夏休みを終え、2学期がスタートしました。夏休み中は大きなけがや事故の報告もなく、子ども達は元気な姿で登校してくれました。これも保護者・地域の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

2学期は、運動会や遠足などの大きい行事が控えていますし、勉強も頑張る学期です。1学期よりも、友だちや先生と協力して何かをする機会が増えてきます。そこで本日の始業式で、2学期に大切にしてほしいことを3つ、子ども達にお願いしました。もし、よろしければ、次のことについて、それぞれの立場で、子供たちに話をしていただければと思います。（文章は、子ども達に向けた表現になっています。）

### 【大切にしてほしいこと1】「きく（話を聞く）」

みなさんは、自分が話をしている時に聞いてもらえなかったらどう思いますか？きっと、イヤな思いをしますよね。イヤな思いをするのは、友だちや大人もいっしょです。だからこそ、人の話は最後までしっかり聞くことは大切です。人の話を最後まで聞くと、大切なことに気づけたり、友だちや先生の気もちが分かたりします。また、自分の考えも言いやすくなります。話を最後まで聞くことは、みなさんにとってもよいことがありますので、最後まで話を聞くようにしましょう。



### 【大切にしてほしいこと2】「かんがえる（自分で考えて行動する）」

自分で考えて行動するとは、自分勝手にすることではありません。先生や友だちの話をしっかり聞いて、「どうすればいいかな」と自分の頭で考えて行動することです。はじめはむずかしいかもしれませんが、自分で考えてうまくいったときは、とてもうれしいと思います。授業でも、「先生、どうすればよいですか？」とすぐにやり方を聞かずに、どうしたらよいかを自分で少し考えてみましょう。

### 【大切にしてほしいこと3】「ふりかえる（自分を振り返る）」

自分を振り返るとは、授業や学校での生活で、自分のしたことを思い出し「これでよかったかな」と考えることです。このことからはじめはむずかしいかもしれませんが、自分のしたことをきちんと振り返ると、自分に合ったやり方が分かり、できることが少しずつ増えていきます。学校は失敗してもよいところです。「次はどうしたらいいか」と振り返って、もう一度チャレンジしてみましょう。

## 校長のつぶやき「夏休み」

毎年、夏休みになると、私が、30年ほど前に中学校の教員になったときの父の言葉を思い出します。

「学校の先生はいいよなあ。子どもたちが夏休みだったら、先生たちも休みだろうが？ずっと、学校に行かなくていいじゃろが？」

私はすぐに「休みじゃないよ！部活や面談、会議がいっぱい入っているし！」と否定しました。私の父は教員ではないので、このように言ったのだと思いますが、30年経った今も、「教職員の働き方」に関する社会の認識は、私の父と大きく変わらないのではないかと感じています。私個人の感覚なのですが、30年ほど前の学校は忙しい中にも、多少の時間の余裕があったと思います。しかしこの30年間で、学校に求められることが急に増えてきて、時間的・精神的余裕をもてなくなってきたと感じます。

私は、この3月まで学校以外のところにいたので、ほぼ10年ぶりの学校復帰となります。この10年間、学校外にいた私が見ても、本校の職員の1学期の様子を見ると本当に忙しく気が休まる暇もないと感じますし、校長としてできることを考える毎日です。

保護者・地域の皆様もそれぞれ仕事があり、お忙しい日々を過ごされていることは重々承知をしています。現在の学校の状況をご理解いただけるとありがたいです。

夏休みの職員研修の様子です。授業をよりよくするための話し合いをしました。



夏休み中、花壇のひまわりも元気に咲いていました。

## 8・9月の主な行事

- 3日（水）委員会活動
- 5日（金）クレヨン号来校
- 10日（水）参観日
- 18～19日 宿泊学習（5年）
- 24日（水）運動会結団式



←川東小ホームページの学校の様子を随時更新していきます。ぜひご覧ください。



←学校通信の感想フォームです。よろしければ、9月22日までに入力してください。